



# 「統計データ利活用センター」について

総務省統計局・（独）統計センター  
統計データ利活用センター長 谷道 正太郎

# 先進的なデータ利活用の拠点「統計データ利活用センター」

平成30年4月1日に、先進的なデータ利活用の推進拠点として、和歌山県内に「統計データ利活用センター」を開設し、ICTを活用して高度なデータ解析を実現する統計マイクロデータの提供を開始。和歌山県と協力し地方創生に貢献

## 統計マイクロデータの提供

- ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境の構築
- オンサイト利用の普及啓発
- 各種データアーカイブの整備 など

## 統計データ利活用センター “先進的なデータ 利活用拠点”

- 地方公共団体との共同研究（データを活用した行政課題の解決）
- 民間ビッグデータ活用等の委託研究
- 地方公共団体への利活用支援 など
- データサイエンススキルの向上支援
- 統計データ利活用に関する研修会の実施 など

データサイエンス・EBPMに  
資する統計データ利活用推進・支援

統計データ利活用に関する  
人材育成

## 【規模】

統計局・統計センター職員、大学等からデータサイエンティスト（非常勤）など十三名

## 【設置場所】

南海和歌山市駅ビル  
（和歌山市東蔵前丁）  
（和歌山県データ利活用推進センターと同じ）

## 働き方改革

- テレビ会議システムの導入
- 個人用デスク撤廃
- テレワークの推進 など

# 先進的なデータ利活用の拠点「統計データ利活用センター」

データ利活用拠点としてのネットワークを形成。和歌山県データ利活用推進センターとも連携・協力し、データ利活用モデルの構築に向けた取組を実施

- ・ オンサイト(情報セキュリティを確保しつつ高度なマイクロデータ解析を可能とする環境)の拡大・全国展開
- ・ オンサイトにおける統計マイクロデータを用いた研究



オンサイトにおけるマイクロデータ解析

- ・ 国のマイクロデータと自治体保有データの組合せによる、行政課題解決の共同研究
- ・ 全国都道府県の利活用担当者に対する支援、相談対応、連携



全国都道府県担当者会議

- ・ 一般向けセミナー開催、キッズプログラミング(8月)
- ・ シンクタンク、経済団体、メディアとの連携・協力
- ・ 諸外国との交流

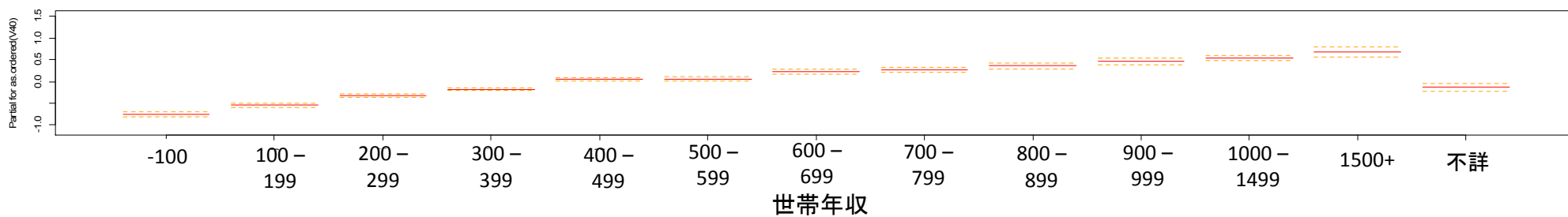
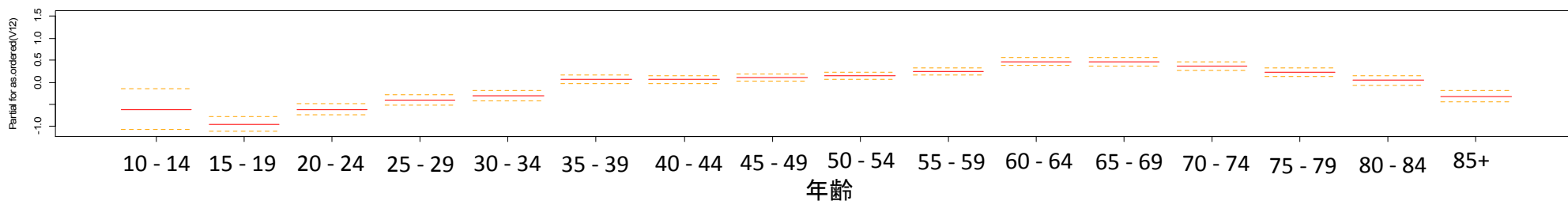
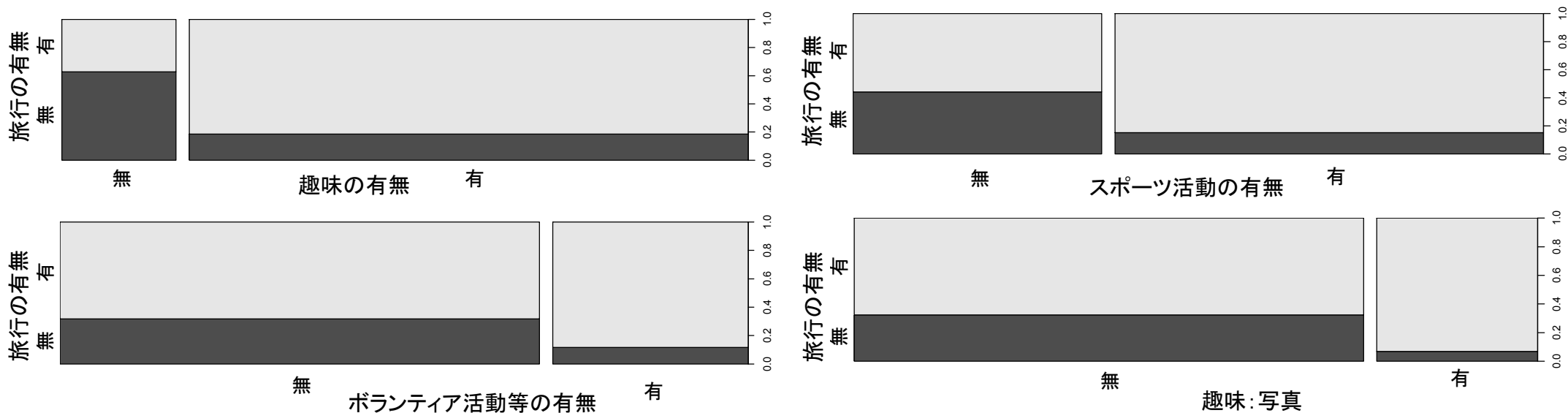


一般向けセミナー

# 統計マイクロデータ分析イメージ (例)

観光行動の要因分析  
平成18年社会生活基本調査を基に作成した疑似データを使用

- ・旅行の有無に大きな差を与える要素を機械（統計分析ソフト）が抽出
- ・マイクロデータを用いることで既存の集計表にはない視点での分析が可能



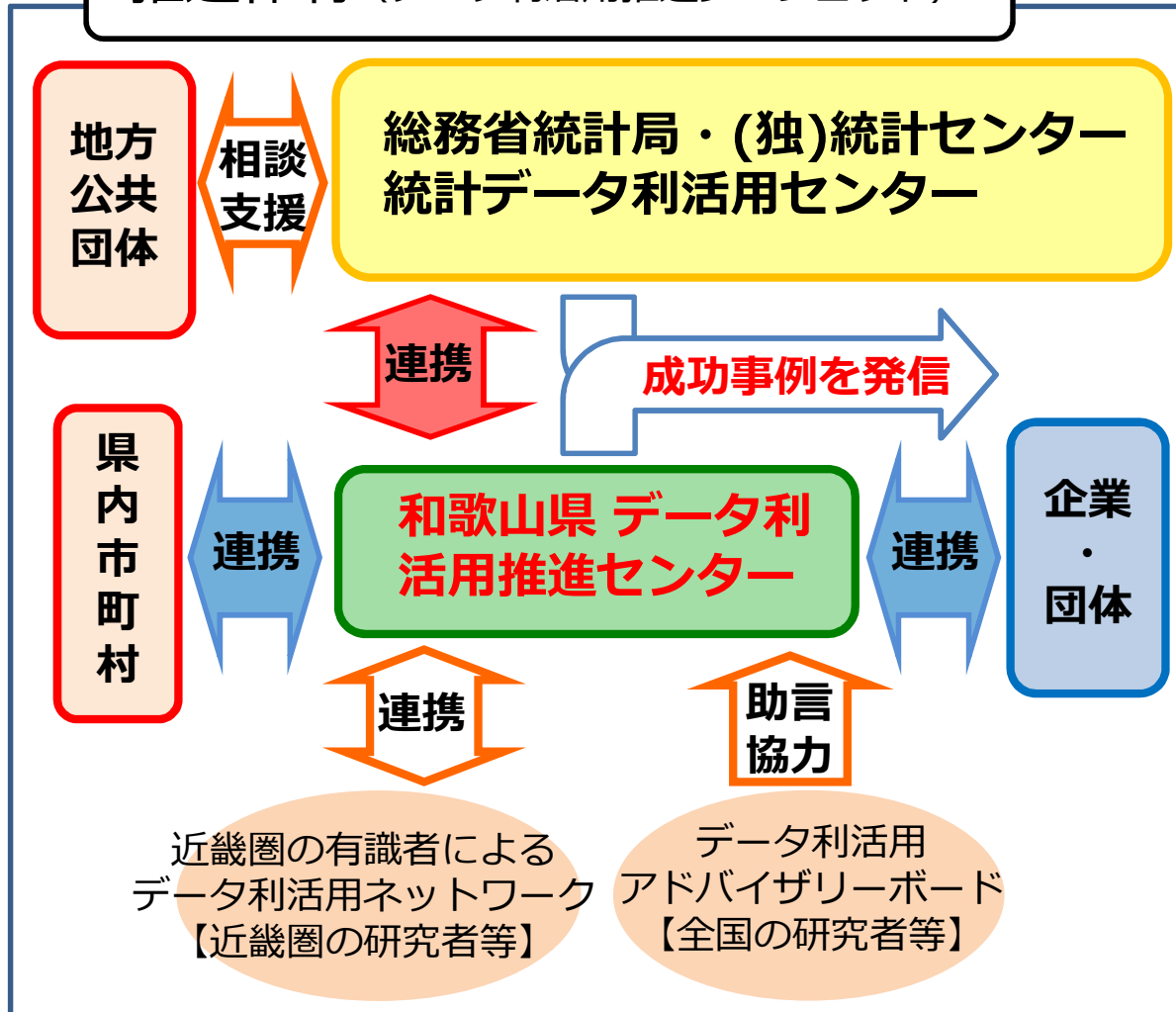
(参考)

## 和歌山県データ利活用推進センターの取組

日本のデータ利活用拠点をめざし、産学官におけるデータ利活用の推進

推進体制（データ利活用推進プロジェクト）

データ利活用推進プラン



データの利活用により、産学官のさらなるレベルアップを図るとともに、本県が日本のデータ利活用の拠点となることを目指して、データ利活用に関する取組方針や指針をまとめた。（平成28年9月）

- データ利活用の促進施策を全面的に支援し、県独自の新たな知見を見いだす研究をはじめ、EBPM（証拠に基づく政策立案）への取組や行政課題の解決に向けたデータ利活用、人材育成など率先して実行し、県内外に向け活発な普及・啓発活動を実施。
- 自治体と研究者が一体となった組織を形成し、行政課題としての視点から産業界の発展に向けた産業、経済の様々な研究・分析を実施。